【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2006-88679(P2006-88679A)
【公開日】平成18年4月6日(2006.4.6)
【年通号数】公開・登録公報2006-014
【出願番号】特願2004-307434(P2004-307434)
【国際特許分類】
Ｂ４３Ｋ　23/08　(2006.01)
Ｂ４３Ｌ　19/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４３Ｋ　9/00　Ｚ
Ｂ４３Ｌ　19/00　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月16日(2006.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
従来の、ペンのふたは、縦の線のような、表面にもりあがりがでたようなものがあったが、手軽に上の方へ指でひっぱったり、手軽にふたが、とれるようなものは、つくり、利用がされてこなかった。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
以上に述べた、従来のペンなどのふたは、取るように、縦の線のようなものしかつけられてこなかった。しかし、現代のペンなどのふたは、インクの乾燥を防ぐためなどにより、また、気密性がたかいものとなっており、ふたのついた、ボールペンなどは、とりづらいものとなってきていたり、なっている。